

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立美保関中学校）

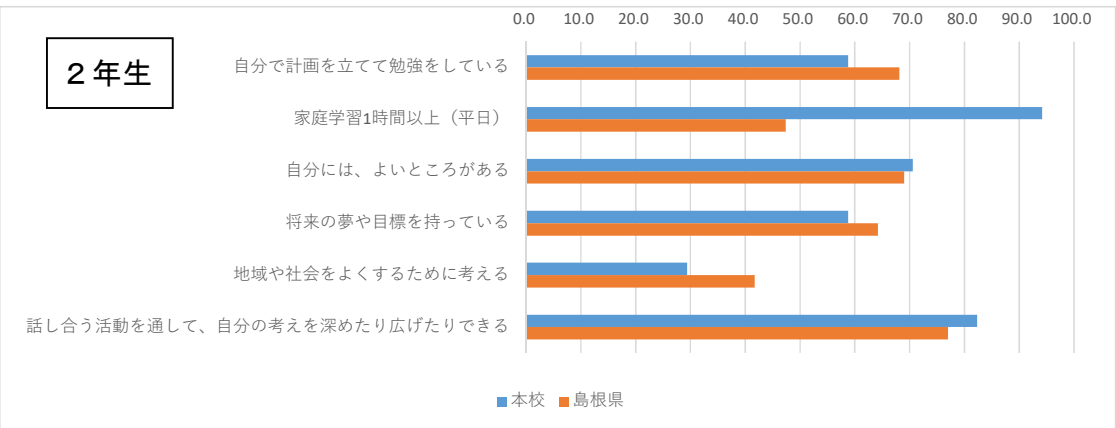
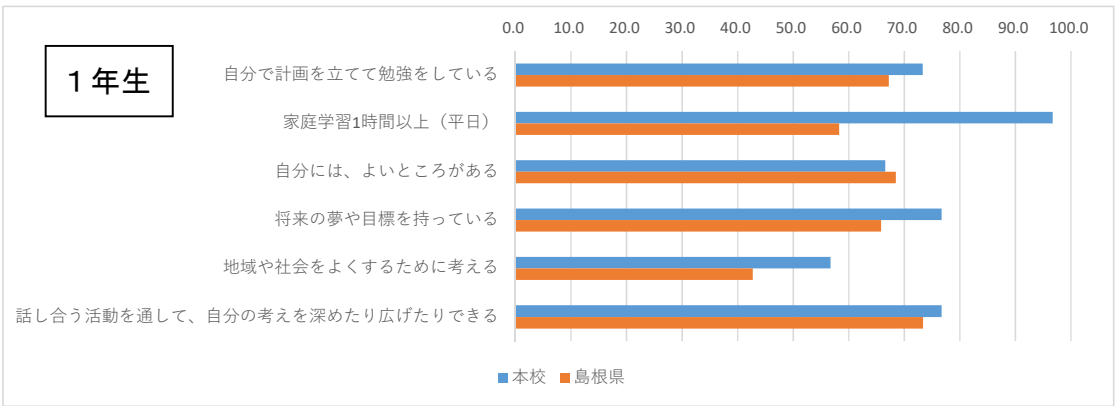
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○基礎的な学習が定着しており、知識・技能は全体に優れている。 ●書くこと、読むことの領域が目標値を下回った。また、主体的に学習に取り組む態度も市平均と比べて6.5P差があるので、ねらいを明確にした授業を今後徹底したい。	2 年 国 語	○全般に学習が定着しており、基礎的な学力が定着していることがうかがわれる。また、活用力も高い。 ●漢字や敬語など、授業ごとに繰り返し学習して、より丁寧に学習を進める。また、個人の能力や関心に応じて課題設定に幅をもたせたい。読書活動を充実させる。
1 年 数 学	○基礎は目標値を超えており、基本的な計算力は身に付いていることがうかがえる。 ●記述式の思考・判断・表現力を問う活用問題で目標値を下回っている。これまで以上に文章題などの発展問題に取り組ませ、思考力を向上させる必要がある。	2 年 数 学	○基礎は市・県・全国平均を上回っており、基本的な計算力は身に付いていることがうかがえる。 ●記述式の思考・判断・表現力を問う活用問題で目標値を下回っている。これまで以上に文章題などの発展問題に取り組ませ、思考力を向上させる必要がある。
1 年 英 語	○聞くこと、読むことの領域は概ね目標値に達している。これまでの学習が定着しつつあることがうかがえる。 ●書くことの領域を下回っている。問題の内容では、英作文であった。既習事項をアウトプットする力を強化する必要がある。	2 年 英 語	○全体的にどの項目も県平均ならびに目標値を上回っており、基礎的な力がかかなり付いている。 ●身に付けた知識・技能を使い、自分の考えや思いを表現する力とともに、英文や図、グラフ等を読み解く力を強化していく。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○平日の学習時間が県平均を大きく上回っている。日々の家庭学習の習慣が定着してきたとともに、学習内容も充実してきた。 ○将来の夢や目標を持つ生徒が多く、達成するために必要なことを考え、学習や日々の生活を送ることができた。 ●自己肯定感の低い生徒が多い。個人の取組や努力を認め合う集団作りが必要である。	2 年	○平日の学習時間が県平均を大きく上回っており、昨年度よりも更に伸びている。日々の家庭学習の習慣が定着してきたとともに、内容も充実してきた。 ○自分の良いところに目を向け、他者と意見を交わしながら考えを深めたり広げたりする項目が昨年より伸びた。 ●言われたことは素直に、真面目に取り組めるが、自主性、主体性を向上させることが今後の課題である。
--------	---	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 34名 2年生 19名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。